

## 第3学年国語科学習指導

日 時 平成20年10月8日(水) 5校時  
児 童 男子5名 女子13名 計18名  
指導者 鈴木 謙二

1 単元名 大事なことをたしかめよう  
教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」(光村図書 3年下)

### 2 単元について

#### (1)能力について

第3・4学年の「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。説明文「すがたをかえる大豆」の主な指導事項は、「段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解する。」(読イ)「内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読む。」(読オ)となっている。

#### (2)児童について

#### (3)教材について

説明文教材「すがたをかえる大豆」は、児童にとって身近な大豆やその加工品について書かれている。しかし、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、児童にとっては意外性があり、知ることの喜びを与える内容となっている。説明文としてみると、文章構成としては、話題提示・工夫の説明・まとめが書かれた「はじめ」「中」「終わり」の構成になっているため比較的にとらえやすい。中心語句や文も明確であり文章がとらえやすくなっている。また、「いちばん分かりやすいのは」「次に」「また」「さらに」「これらのほかに」など接続する語句に着目することによって、大豆の加工方法を種類ごとにおさえることができ、大豆をおいしく食べる「中」の部分の五つの工夫をとらえやすくなっている。これらのことから本教材は児童にとって、中心語句や段落のつながりに注意しながら読み進めていくのに適した教材であると考えられる。また後の「食べ物はかせになろう」で書く活動に発展していくが、その際も「すがたをかえる大豆」が分かりやすい参考例になると考える。

#### (4)指導にあたって

指導にあたっては、以下の点に留意して学習を進めていきたい。

第一次では、まず、練習教材で、「はじめ」「中」「終わり」の段落や接続語について振りかえらせたい。さらに、本教材の導入では大豆の実物や写真を使い実際に見たり、触ったりする体験をさせ意欲を高めていきたい。また、「学習の進め方の手引き」を使って読み取りの進め方を確認したり、「食べ物はかせになろう」の学習につながることを知らせたりして、

学習の見通しと目的意識を持たせたい。

第二次の読み取りの段階では、重要語句に着目させて工夫を見つけたり、できる食品を見つけたりするなど目的を持った音読をさせたい。また、「読み取りの手引き」に沿って、段落をおさえ、重要語句や接続語、指示語などに着目させながら読み進めていきたい。能力について個人差が大きいので、読み取りの手助けとなるよう学習シートを工夫したりして、一人一人の読みを確かなものにしていきたい。

第三次では、第二次までの読みを生かし、「はじめ」「中」「終わり」の段落構成や接続語に注意して書かせていきたい。

### 3 単元の目標と評価規準

#### (1)単元の目標

- ◎身近な食べ物について知識を得るとともに興味を広げる。
- ◎中心となる語や文、段落相互の関係に注意して文章を読む。
- ◎本での調べ方を知り、身近な食べ物について調べ、分かりやすくまとめて友達と交流する。

#### (2)評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味を持って読もうとしている。</li> <li>・段落相互の関係に注意し、伝えたいことが明確になるように文章を書こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な食べ物について、情報を収集したり、取捨選択したりしながら、段落に分けて文章にまとめている。(書イエ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心となる語や文をとらえて、段落相互の関係を考え、大豆をおいしく食べる工夫を読み取っている。(読イオ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体における段落の役割を理解している。(言オ(イ))</li> </ul>

### 4 単元の指導計画 (18 時間)

すがたをかえる大豆				
段階	時	学習活動	指導事項・留意点	評価規準
第 一 次	1	○練習教材で、段落構成と接続する言葉についてを振り返る。	・問いと答えに着目したことや接続する言葉の使われ方を確認させる。	【読】視点に沿って教材分を振り返っている。
	2	○全文を読み、大豆を使った食品を確かめ、感想を書く。	・実物や写真を見せ興味を高める。 ・知っていること、疑問に思ったことなどを感想に書かせる。	【関】大豆に興味を持ち、大豆を使った食品を予想し、知っていることや疑問に思ったことを出すことができる。
	3	○新出漢字やわからない語句の意味を確かめ、学習の手引をもとに学習の見通しを持つ。	・学習の手引きを使い、説明文の読み取りの進め方を確認するとともに、最終的には食べ物のはかせになって本を書くという目的意識を持たせる。	【関】大豆や様々な食べ物に興味を持ち、意欲を持って学習に取り組もうとしている。

第 二 次	4	○全文を「はじめ」「中」「終わり」にわけ段落相互の関係を考える。	・これまでの学習を振り返り、書かれている内容や、接続語に着目させ、「はじめ」「中」「終わり」の文章構成をとらえさせる。	【読・言】「はじめ」「中」「終わり」の大きなまとまりを理解し、それぞれに書かれた内容を読み取っている。
	5	○第①②段落を読み、筆者は何について伝えようとしているかを考える。	・「大豆」「すがたをかえている」という語句や、指示語、文末表現に着目させ、大豆を食べるにはなぜ工夫が必要か読み取ることができるようにする。	【読】筆者の伝えたいことを読み取っている。
	6	○第③④⑤段落から、大豆をおいしく食べる工夫を読み取る。	・「くふう」という語句や、段落のはじめの言葉（「いちばんわかりやすいのは」「つぎに」「また」など）に着目させ、おいしく食べるための工夫とできる食品を読み取らせる。 ・「いる」「にる」「ひく」などの言葉の意味を確認させる。	【読】大豆をおいしく食べる工夫やそれによってできる食品について読み取っている。
	7	○第⑥⑦段落から大豆をおいしく食べる工夫を読みとる。		
	8	○第⑧⑨段落を読み取り、筆者の考えをまとめる。	・「このように」「そのうえ」などの言葉に着目させ、大豆のよさや、筆者の考えを読み取らせる。	【読】大豆のよさや昔の人々の知恵について読み取っている。
9	○それぞれの段落の小見出しを考え、文章の構成を確認する。	・文章の構成がわかるワークシートに段落ごとの小見出しを書き、段落意識を高める。	【読】書かれている内容から適切な小見出しを作っている。	

食べ物はかせになろう

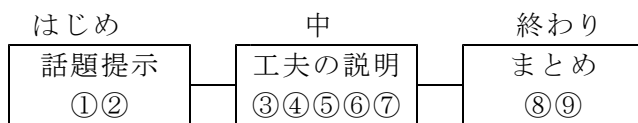
		学習活動	指導事項・留意点	評価規準
第 三 次	10 }	○学習活動の流れをつかみ、計画を立てる。	・実際に食べ物について書かれた本を提示し意欲を高める。 ・目次索引の使い方を練習させる。	【書】【言】「はじめ」「中」「終わり」の文章構成で書いている。 【書】【言】段落を意識したり、接続語の使い方に気をつけながら文章を書いている。
		○本での調べ方を知る。 ○実際に調べカードに書く。 ○構成を考える。 ○作文し推敲する。 ○発表し交流する。		
	18		・「はじめ」「中」「終わり」の構成で書かせる。 ・学習を振り返らせ、読む視点をおさえさせる。	

5 教材構造図

「すがたをかえる大豆」教材構造図

まとめ		説明					話題提示		構成 段落
⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	段落 形式
筆者の感想	多くの食べ方が考えられた理由	とりいれた時間や育てかたを変えて食べる工夫	小さな生物の力で違う食品にする工夫	栄養を取り出して違う食品にする工夫	粉にひいて食べる工夫	いったり、煮たりする工夫	大豆の基礎知識	ほとんど毎日、食べている大豆	小見出し
大豆のよさに気づき、食事に取り入れた昔の人々の知恵に驚いた。	味がよく、栄養が豊富でやせた土地に強く、育てやすいため、多くの食べ方が考えられた	柔らかいうちに取り入れてゆでると枝豆ができる。種を日光に当てずに水で育てるともやしができる。	目に見えない小さな生物の力で、納豆や味噌、醤油ができる。	水を含んだ大豆をすりつぶして出た汁をさらにしぼって固めると豆腐ができる。	大豆をいって粉にひくと、きな粉になる。	煮豆になる。その形のままでいったり、煮たりするといり豆、	大豆は、ダイズの種である。硬いので、食べにくく、消化も悪いので、いろいろな手を加えておいしく食べるくふうをしている。	米・麦以外にも、ほとんど毎日大豆を食べているが、姿を変えているので気づかれない。	段落の要点
・おどろかされます。	・このように大豆 ・そのうえ	・これらのほかにくふう	・さらにくふう	・またくふう	・次にくふう	・いちばんわかりやすいのはくふう	・大豆のため ・そのため ・くふう	・大豆 ・すがたをかえている	着目させたい言語

段落構成図



要旨  
大豆は味もよく、たくさん栄養を含み、育ちやすいことから多くの地域で植えられたので多くの食べ方が考えられ、いろいろなすがたで食べられていく。大豆の良いところ気づき食事に取り入れてきた昔の人々の知恵に驚かされる。

6 本時の指導

(1)目標

○大豆をおいしく食べる工夫と、その工夫によってできる食品について読み取ることができる。

(2)指導の構想

○本時は、第③④⑤段落について、大豆を「おいしくする工夫」とそれによってできる「食品」を読み取る学習である。「いちばんわかりやすいのは」「つぎに」「さらに」といった、それぞれの段落の最初の接続語や「くふう」という言葉に着目させ、教科書のおいしくする工夫の部分にサイドラインを引かせたり、できる食品を囲ったりせながら、ワークシートにまとめ、確実に読み取らせていきたい。また、深める段階の最後には、段落のつながりも考えさせていきたい。

(3)展開

段階	学習活動	教師の支援	評価
つ か む  8 分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>大豆をおいしくする工夫を見つけよう 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工夫について書かれている部分を音読する。(③～⑦)</li> <li>本時の学習部分を音読する。(③～⑤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大豆はいろいろな食品に姿を変えていること、硬い大豆をいろいろ手を加えておいしく食べる工夫をしていることを確認させる。</li> <li>本時の学習場面には工夫が書かれていることを確認させる。</li> <li>工夫について書かれているのは第⑦段落までであることを確認させる。</li> <li>「くふう」という言葉に着目して読ませる。</li> <li>接続する言葉「いちばんわかりやすいのは」「つぎに」「また」に着目させ、工夫がいくつ書いてあるか予想させる。</li> </ul>	
ふ か	<p>3 大豆をおいしくする工夫とできる食品を読み取る。</p> <p>(1) 第③段落を全員で読み取りながら、学習の進め方をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードは何でしょう</li> <li><b>どんな工夫をしているのでしょうか。工夫がわかる文にサイドラインを引きましょう。</b></li> <li><b>くふうという言葉で終わるように短くまとめてみましょう。</b></li> <li><b>できる食品は何でしょう。</b></li> </ul> <p>(2) 第④⑤段落を自分の力で読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「くふう」をキーワードとし、どことなくふうなのか書かれている文にサイドラインを引く。短くまとめる。できる食品は□でかこう。ワークシートに書くという学習の進め方を確認しながら進めさせる。</li> <li>読み取りの手引きを手がかりとして、重要語句「くふう」に注意しながら、①で確かめ</li> </ul>	<p>◎大豆をおいしくする工夫をとらえることができる。 (サイドライン・ワークシート)</p> <p>◎工夫によってできた食品がなんであるかと</p>

<p>め 3 2 分</p>	<p>・第③段落を読んだ時のやり方で、自分の力でやってみましょう。 (3) 読みとったことを全体で話し合う。 ・<b>どんな工夫をしているのでしょうか。</b> ・<b>できる食品は何でしょう。</b> 4 第③④⑤段落の並び方について考える。 ・<b>第③④⑤段落はなぜこの順番に並んでいるのでしょうか。</b></p>	<p>た学習の進め方に従って学習させる。  ・まとめた理由も発表させる。 ・食品の写真カードを準備し、視覚的にもとらえさせる。  ・ペアでの話し合いを持たせ考えを深めさせる。 ・加工の仕方が簡単なものから、複雑なものへと変化していることに気付かせる。</p>	<p>らえることができる。 (サイドライン・ワークシート)  ○自分の考えを持って話し合っている。 (話し合い・発表)</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。 6 次時の学習内容を知る。</p>	<p>・ワークシートで自己評価させる ・今日の学習の手順で、第⑥⑦段落を読み取っていくことを知らせる</p>	

(4) 具体の評価規準

- A : 大豆をおいしくする工夫とできる食品について自分の力で読み取ることができる。
- B : 大豆をおいしくする工夫とできる食品について話し合いを通して読み取ることができる。
- C への配慮 : 教科書の食品の写真を見せたり、「くふう」という言葉に印をつけさせるなどして、個別に確認しながら見つけさせる。

(5) 板書計画

すがたをかえる大豆  
国分 牧衛

か  
題  
大豆をおいしくする工夫を  
みつけよう。

い  
ち  
ば  
ん  
分  
か  
り  
や  
す  
い  
の  
は  
、  
大  
豆  
を  
そ  
の  
形  
の  
ま  
ま  
い  
っ  
た  
り  
、  
に  
た  
り  
し  
て  
、  
や  
わ  
ら  
か  
く  
、  
お  
い  
し  
く  
す  
る  
く  
ふ  
う  
で  
す。  
い  
る  
と  
、  
豆  
ま  
き  
に  
使  
う  
豆  
に  
な  
り  
ま  
す。  
水  
に  
つ  
け  
て  
や  
わ  
ら  
か  
く  
し  
て  
か  
ら  
に  
る  
と  
、  
豆  
に  
な  
り  
ま  
す。  
水  
に  
正  
月  
の  
お  
せ  
ち  
り  
よ  
う  
り  
に  
使  
わ  
れ  
る  
黒  
豆  
も  
、  
い  
ろ  
い  
ろ  
の  
豆  
の  
一  
つ  
で  
す。  
豆  
に  
は  
、  
黒  
、  
茶  
、  
白  
な  
ど  
、  
い  
ろ  
い  
ろ  
な  
色  
の  
大  
豆  
が  
使  
わ  
れ  
ま  
す。

へくふう  
大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にする  
くふう  
とうふ  
写真

また、大豆にふくまれる大切なえいようだけを取  
り出して、ちがう食品にするくふうもあります。水  
をいっばいにするくらい大豆をすりつぶすと、白っぽいものが出  
てきます。これに水をくわえて熱します。その後、ぬのを使って中身  
をしぼり出し、かためるためにニガリというものをくわえます。こ  
うすると、とうふができます。

へくふう  
きなこの  
写真

次に、きなこにひいて食べるくふうがあります。もち  
やだんごにかけるきなこは、大豆をいって、粉にひいたものです。

へくふう  
きなこの  
写真

その形のままいたり、にたりして、やわらかくおい  
しくするくふう。  
へくふう  
豆まきを使う豆  
に豆の写真

(6) 学習の手引き

学習の進め方の手引き

	学習の順序	学習のしかた
1	題名を読む。	①題名を読み、何についての話かをつかむ。 ②話題について知っていることを話し合う。
3	全文を読む。	①わからない言葉にしるしをつけながら読む。
4	初めの感想を書く。	①文章や挿絵をもとに、初めて知ったこと、疑問に思ったこと、くわしく知りたいことなどを書く。
5	新しい漢字や意味のわからない言葉を調べる。	①新しい漢字を練習する。 ②意味のわからない言葉を国語辞典を使って調べる。
6	学習のめあて・計画を知る。	①形式段落に番号をつける ②学習の計画を知る。
7	文章の組み立てを考える。	①「はじめ」「中」「終わり」の3つに分ける。
8	文章を読み進める。	①小さなまとまりごとに読む。 ②しじ語やつなぎ言葉を□でかこむ。 ③キーワードを見つけ○でかこむ。 ④中心文にサイドラインを引く ⑤内容を短くをまとめる。 ⑥小見出しをつけだんらく全体のつながりをみつける。
9	学習を生かして、自分で本を書く。	①調べたいことを決める。 ②本で調べる。 ③今までの学習を参考に文章を書く。
10	発表会をもち、おたがいのよいところを見つける。	①自分の作品をみんなにしょうかいする。 ②おたがいのよいところを見つけてほめあう。